

電気電子工学

は、あらゆる分野を支える学問です。生活に欠かせないスマートフォン・パソコン、電子レンジなどの生活家電から電気自動車やロボットまで、電気電子の技術無くしては、社会が成り立たないといっても過言ではありません。

地域社会に貢献する技術者・研究者を育成するため、「基礎科目で根を張り、専門性の幹を育て、研究で実を結ぶ」教育を行っています。

重要基礎科目：少人数教育 **専門科目：座学＋実験・演習**



YouTubeで動画も配信中

自動片付けシステム??

「電気」って、面白い。

ピンポイントで音を飛ばす??!

静岡理科大学

YouTube

Facebookも是非ご覧下さい

静岡理科大学 電気電子工学科

～写真で見ると静岡理科大学～
大学の主要な施設紹介です。教育、研究、学生生活を交える施設がキャンパス内にはあります！今日は一掃ご紹介！！
(写真をクリックするとそれぞれの施設がキャプションで見られますので是非クリックを)
#静岡理科大学 #キャンパス #ツアー

静岡理科大学 電気電子工学科

本学電気電子工学科4年生の鈴木敦久さんが電気学会関東支部長に就任しました！おめでとうございます！！
本日は、電気学会本部が主催する大学・工機系専門学校で電気工学を学ぶ学生の学業奨励のために、優秀な成績で電気工学を修めた学生（30名）に贈られる賞です。もつと見ると

Facebook



静岡理工科大学

電気電子工学科





高電圧工学研究室




石田 隆弘 教授 場所: R422

高電圧の世界で起こる不思議な現象を調べる
効率的にエネルギーを伝えるためには高電圧を用いる必要があります。本研究室では、高電圧の世界で起こる特異な現象について研究しています。また、安全に高電圧を使用できるよう、高電圧に耐える絶縁材料の開発を行っています。

蓄電装置研究室

土肥 稔 教授 場所: R403-1

再生可能エネルギーのための安全で半永久的に使用可能な蓄電池の開発
太陽電池や風力発電などの再生可能エネルギーを安定的に利用するためには大型の蓄電池が必要となります。レドックスフロー電池など、発火・爆発しない、電解液が劣化しない安全で長寿命な蓄電池の開発に取り組んでいます。

生活支援スマートシステム研究室




美馬 一博 教授 場所: R421

メカトロ技術による生活・移動の支援
電気電子工学と機械工学、制御工学を融合したメカトロ技術を駆使し、生活を支援するアプリケーションの開発を目指す研究室です。近年発達した新しい情報、通信、計測技術や、ラビッドプロトタイプング技術(RP)も活用し、人の生活や移動を心地よくするシステムを研究開発していきます。

システムコントロール研究室




服部 和美 教授 場所: R222

人や環境にやさしい高効率・低振動なモータ制御法
日本の全消費電力量の約60%はモータが消費しており、全てのモータの効率を1%向上させると、発電所が1基不要になると言われています。高効率でかつ低振動(低騒音)な人や環境にやさしいモータ駆動を実現させるために研究を行っています。

電力変換装置研究室




中田 篤史 准教授 場所: R221

低炭素社会の実現に向けて電力エネルギーを自在に制御する
震災などの影響により電力会社の電気供給能力が不足し、節電、停電、瞬時電圧低下などの対策に関する研究が盛んになってきています。低炭素社会を目指す再生可能エネルギー分野などで、安定的に電力を得る技術について研究しています。

**電気工学コース
電力・エネルギー分野**



**電気工学コース
制御・システム分野**



電動機器システム研究室




青山 真大 准教授 場所: R403-2

電気-機械エネルギー変換コンポーネントおよびシステム
輸送機器分野や生産技術の電動化など、時代の潮流において電気-機械エネルギー変換機器とそのシステムは重要な要素技術となっています。本研究室ではモータ、誘導加熱、電磁流体アクチュエータ、電力変換器の研究を行っています。

生体情報計測研究室



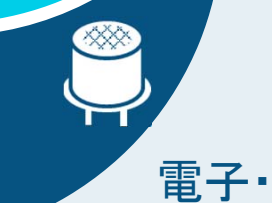

本井 幸介 教授 場所: R213-2

負担のない新たな生体計測技術の開発で、日々の健康や安心をさりげなく支援する
日々を健康で安心して暮らすために、毎日健康状態をさりげなくチェックできる、療養者やスタッフの負担を大きく軽減する、衣服(ウェアラブル)型、あるいはセンサ装着や機器操作が不要な住宅設備内蔵型ヘルスケアシステムを開発しています。



**情報・通信分野
電子工学コース**



**電子・光応用分野
電子工学コース**



化合物半導体研究室

小澤 哲夫 教授 場所: R224

半導体を有機物で作る、近未来の太陽電池材料を開発する
湿式型の太陽電池である色素増感型太陽電池は低コストで製造でき、また、様々な色のついた太陽電池や立体的な3D太陽電池も可能です。天然色素を含めた様々な色素を用いて、高い変換効率を実現する太陽電池の研究を行っています。

音響研究室




武岡 成人 准教授 場所: R427

まるでその空間にいるような“音場”を再現する新しい録音・再生技術を開発
コンサートホールや友人との会話など「本当にその音空間にいるような」再生をする録音・再生システムを目指して研究を進めています。高速1bit信号処理や極めてまっすぐ音が出力されるパラメトリックスピーカなどの新技術に取り組んでいます。

ワイヤレス情報通信研究室




本良 瑞樹 准教授 場所: R423-2

無線で社会をより便利に、安全に
無線に関する研究を行っています。現在の情報ネットワークの多くは無線通信で構築されていますが、今後、より多くのモノやヒトがつながりあいネットワーク化していく社会が到来します。通信だけでなく無線でエネルギーを送る技術など“無線”の可能性を探っていきます。


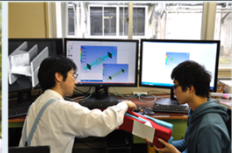
環境エネルギーイノベーション研究室




東城 友都 准教授 場所: R223

ユビキタスネットワーク・クリーンエネルギー社会で活躍する発・蓄電池の実現
東日本大震災後から電力利用方法が見直されており、新しい電力システムのためエネルギー変換デバイス(発・蓄電池)の変換効率・エネルギー密度の向上が求められています。電池の構成材料を刷新した次世代電池の開発を行っています。

センサ工学研究室

村上 裕二 教授 場所: R225

小さなセンサで健康社会へ大きく舵取り
微細加工技術を駆使したマイクロ流体デバイスには、高効率化や省エネ、省資源、自動化や省力化という観点で注目を集めています。パイオで測る、パイオを測る、の両側面からアプローチを進め、生活習慣病対策に向けた新しいセンサ開発にも取り組んでいます。